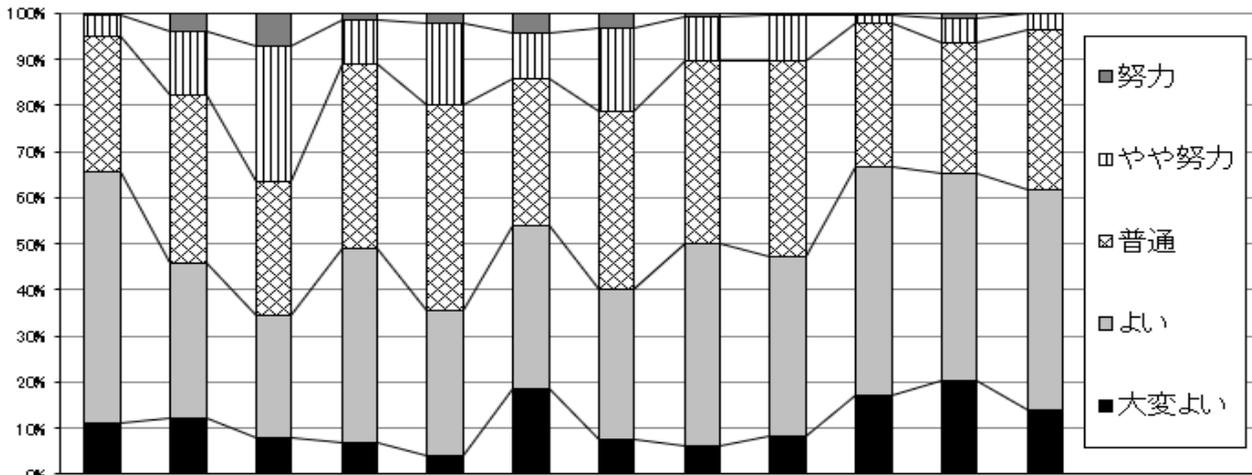


令和4年度

保護者アンケート結果のお知らせ

早春の侯、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、2学期末にご協力いただきました「家庭・地域と連携したよりよい学校づくりのためのアンケート」(保護者アンケート)の結果を報告いたします。保護者の皆様方が多くの項目に対して好意的に受け止めてくださり、温かい励ましのご意見やさらなる改善に向けてのご意見をいただきました。ありがとうございました。ご意見を真摯に受け止め、さらによりよい平野小学校になるよう、保護者・地域の皆様方とともに努力して参りたいと思います。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。



地域の方と関わりながら行っている教育活動の取り組みはどうか。

一人一台のタブレットを活用した授業を行っています。情報モラルを高める授業も進めています。この取り組みはどうでしょうか。

学校要覧、学校便り、学年・学級通信、ホームページ、連絡メール等を通して、学校の教育内容や教育活動が分かりやすく伝えられているでしょうか。

本校は、交通安全への取り組みや不審者の対策等に十分な配慮をしているでしょうか。

子どもたちは登下校で交通安全に気を付けているでしょうか。

お子さんは、自分の健康に関心をもって、よい生活習慣を身に付けようとしていますか。

お子さんは、学校へ喜んで行っていますか。

家庭、学校、地域等で見られるお子さんのあいさつや返事はどうか。

学校は、子ども一人ひとりが大切にされ、お互いによさや違いを認め合える安心な生活の場になっているでしょうか。

お子さんの家庭学習への取り組みはどうでしょうか。

お子さんは授業が楽しいと感じ、意欲的に取り組んでいると思いますか。

「学び合いを取り入れた日々の授業改善」への教職員への取り組みは、子どもたちの学びや成長につながっていると思いますか。

回答数: 359
児童数に対する割合
77.2%

アンケート結果の分析から

- 【日々の授業改善】 【学校が安心な生活の場】 【登下校の交通安全】 【交通安全・不審者対策】 【教育内容や活動の発信】 【ICT教育】 【地域の方との交流】 の項目では、「大変よい・よい・ふつう」が、ほぼ90%を超える評価をいただき、私たち職員一同の大きな励みであります。
- 学校の教育活動の中心であり、大切にしなければならないのは、毎日の授業です。今後も「学び合い」による授業改善の取り組みを進めていきたいと思ひます。子どもの「わからない」に寄り添い、「子どもの声を聴き、つなぐ授業」に取り組み、「できた」「わかった」という喜びが持てる子どもが一人でも多くなるよう努めていきたいと思ひます。それが、【授業が楽しい・意欲的に取り組む】にもつながってくると考えます。
- 【学校が安心な生活の場】も90%近い評価をいただきました。学校が、子ども達にとって自分が認められ安心できる場であることをこれからも目指していきたいと思ひます。一方「努力を要する」のお声もあります。個々の子どもたちに寄り沿い、悩みや不安を真摯に受け止め、対応していきたいと思ひます。また、個別相談の時間を設けたりQ・U等各種アンケートを活用したりして、安心して過ごせる学校・学級づくりを進めていきます。
- 【登下校の交通安全】 【交通安全・不審者対策】も、高評価をいただきました。子ども達の登下校の安全については、見守りボランティアの方々や校外指導部・交通安全部の方々、そして保護者の皆様に、日ごろから登下校の様子を見守っていただいていることに感謝申し上げます。「登下校時、ふざけている児童もいて危ない」というご意見もいただきました。校長講話等でも安全指導を行いました。今後も声かけ等を継続していきます。

- 【あいさつ・返事】については、昨年より評価が上がりました。家庭や地域、学校での取り組みの成果が少しずつ表れているかと思います。児童会では代表委員会を中心に「あいさつ当番」の活動を行っており、児童の自己評価も比較的高くなっています。しかし、アンケート結果を見ますと「大変よい」「よい」は合わせて40%未満です。今後も家庭・地域、学校が一体となってあいさつを働きかけるなど、気持ちのよいあいさつが響く、平野小学校を目指していきます。
- 【ICT教育】は、タブレットを活用した授業を進めたり、家庭に持ち帰り学習に活用したりすることを行ってあることもあり、多くの保護者に好意的に評価していただきました。オンライン授業の要望もありましたので、今後もICT教育の充実を図っていきたく思います。記述回答では、タブレット使用の不安を感じている方や家庭でのタブレットの使い方に苦慮されているとのご意見もありました。学校と家庭で連携を取り合い、タブレット使用のルールや情報モラルを高める取り組み（児童への指導・家庭への啓発）をしていきます。
- 【家庭学習の定着】【基本的生活習慣】は低い評価となっています。「家庭学習の手引き」を活用していただいたり、学級懇談会や個別懇談会などで家庭学習の取り組み方を考え合ったりして、ご家庭と連携して進めていきたいと思えます。また、家庭学習の時間と生活習慣は関連があります。広くとらえれば、あいさつも基本的生活習慣と言えまじ、ゲームやメディアとの関わり、タブレット使用も同様であると考えます。ご家庭と学校が協力して取り組んでいきたいと思えます。

保護者の皆様からのご意見について

個人的なご意見に対しては、個々に対応させていただきます

- タブレットを活用した宿題を出したら、もっとICTを身近に感じられて、子ども達の可能性を広げられるのではないのでしょうか。（例えば週末のみタブレットでの課題提出を試みる等）
- タブレットの授業はこれからの子ども達に必要なかもしれないが、教科書が電子書籍化したり、ノートでなくタブレットに書くというのは、昔育ちの親からしたらなんとなく受け入れ難い。子どもの目や脳への影響も心配。
- 一人一台持たせてもらっているタブレットを帰宅後や休日ずーっと何かしらの遊びにしている。だから時間がある限りタブレットを見ている状態。このままではその後の視力や生活習慣に影響していくような気がする。この状態ではスマホばかりいじっている人間になるのは間違いないです。
→タブレット使用については、保護者の方のご意見も分かります。これからの学校や社会でタブレットはじめICT機器は今以上に活用されるようになってきます。その際「どのように使うのか」がとても重要です。学習のためのものが、ゲームや遊びに使用しているのでは問題です。使用制限を設けることも一つの考えではありますが、ご家庭や学校で子ども達と一緒にタブレットの適切な使用について考えていきたいと思えます。
- たまに、いじめられたと言ってストレスを感じると言っていたことがあります。いじめの程度がどれくらいかわからないので、ただじゃれあっていたのか、こっちから先に手を出したのか、どれくらいかわからないが、相手は、そのつもりでなくとも、受け手がいじめと感じるといじめになるので、注意してほしいです。
- いじめられた児童だけが我慢や頑張るのではなく、いじている児童のケアもしっかり行い再発防止に努めて頂きたいです。
- 子ども達にいじめや不登校などに対応できる力がつくように、道徳の授業など心が成長できる勉強を増やしてほしい。もちろん、まずは親が自分の子供としっかり向き合って教えていかなければと思えます。
→悲しく、切ない思いをしている子の気持ちをしっかりと受け止め、いじめに関しては、双方の話をよく聞き、事実確認し、複数の職員で関わり、その子に寄り添った対応に努めていきたいと思えます。
- 各家庭が購入しなければならない学用品の見直しを希望します。前々から思っていました、入学前、そして入学後もたくさんの学用品を購入させられました。中には本当に必要なか疑問のものもありました。例として、低学年でしか使わない算数セット、1か月間しか使用しない水着、中庭用の靴、けん玉など。今までそのような見直しはされたことがあるのでしょうか。必要なことと思えますので、ご検討ください。
→学用品等の購入品については、今後も検討していきます。保護者負担軽減の観点から、個人持ちとしてどうしても必要なものを除いて、希望購入としたり、保護者同士で学用品の交換をしたりするなど、ご家庭や地域でも工夫していただければと思えます。

ひらのっ子応援団運営委員会の皆様のご意見

- コロナ禍で難しい部分もあるとは思いますが、行事など通常に近い形で経験させてあげたかったです。
- 日頃、先生方には子ども達に関して細部にまで気を配り、対応していただいていることを様々な場面で感じ、頭が下がる思いです。学校はコミュニケーションを学ぶ大切な場なので、日々大変なこともあると思いますが、貴重な場になっています。学習面もですが、どうか、子ども達の関わりの部分のサポートを今後も一緒にしていただけると、子も親も救われます。

その他、いただいたご意見については、すべて全職員で共有し、職員会、教務会、学年会等で検討しております。今後ともご意見やご質問などございましたら遠慮なく学校へお知らせくださるようお願いいたします。よりよい学校運営、児童支援にいかしてまいります。

担当：教務

TEL:0269-22-2097

FAX:0269-22-7597

E-mail hirano@g.nakano-ngn.ed.jp